

テキストマイニングによる
Saucy Dog の歌詞分析

和光大学

現代人間学部 心理教育学科

19P055

竹本 瑞季

目次

1. 問題と目的	3
1.1. はじめに.....	3
1.2. 目的.....	3
2. 方法	3
2.1. 分析対象.....	3
2.2. 分析方法.....	3
2.3. 倫理的配慮.....	4
3. 結果	4
3.1. 基本情報.....	4
3.2. 単語頻度解析.....	4
3.3. 対応バブル分析.....	10
4. 考察	12
4.1. ジャンルについて.....	12
4.2. 印象3分類と感情3分類について.....	12
5. おわりに	13
謝辞	13
文献	13

1. 問題と目的

1.1. はじめに

Saucy Dogは2013年に結成された10代から20代に人気の3ピースロックバンドである。結成当時から大幅なメンバーチェンジを経て、現在、ギターボーカル石原慎也、ベース秋澤和貴、ドラムコーラスせとゆいかの3人で構成されている。2016年8月2日リリースの自主製作盤『あしあと』に収録されたバラード曲『いつか』は、同年12月にYouTubeでMV(ミュージックビデオ)が公開され、瞬く間に1,600万回再生を超え、2022年11月24日現在では7,143万回再生されているSaucy Dogの代表曲と言えるだろう。恋愛がテーマの曲が多く、作詞者石原慎也の実体験が元になり作成された楽曲も多い。そんなリアルな恋愛の儚さ、切なさが現代の10代から20代からの人気を集める秘訣と言えるだろう。

Saucy Dogの曲を聴く中で大きな魅力だと感じるのは歌詞であり、筆者の同年代から多くの人気を集める理由も歌詞の中にあるのではないかと感じる。

1.2. 目的

上記のことから、本研究の目的は、Saucy Dogの人気の秘訣を歌詞の中から考察することにある。テキストマイニングを用いて歌詞を分析することで、Saucy Dogと作詞者石原慎也が歌詞を通じて表現しようとしたことや、石原の人生と恋愛観を明らかにしたい。

2. 方法

2.1. 分析対象

2017年から2022年7月までにSaucy Dog名義で発売された6つのアルバム収録曲の歌詞を分析対象とした。また、アルバム収録曲は楽曲発表よりも後に収録されたものであり、楽曲の発表年度とのズレもある。

2.2. 分析方法

これらの43曲をテキスト化し、Text Mining Studio Ver. 7.1.1により、テキストマイニングの手法を用いて歌詞の分析を行った。歌詞のデータはID、アルバム、曲目、タイトル、本文歌詞をデータとして入力した。

分析は単語頻度解析、対応バブル分析を行った。なお、分析を行う際に、楽曲を以下の属性に分けて分析を行った。①アルバム別の分析：アルバムの発売順に1から6まで楽曲を分類した。②楽曲の表現する感情別（感情の3分類）：その楽曲の歌詞が表現していると思われる感情として「不快」「動揺」「快感情」の3つに分類した。③曲の印象別（印象の3分類）：曲の印象を聴いた時の印象を「暗い」「中間」「明るい」の3つに分類した。④ジャンル別：歌詞から曲のジャンルを「恋愛」「人生」「家族」「夢」の4つに分類した。

2.3. 倫理的配慮

すでに公表され、発売されているアルバムの内容を用いた分析であるため、倫理的配慮は著作権に配慮する他は特に必要がない。

3. 結果

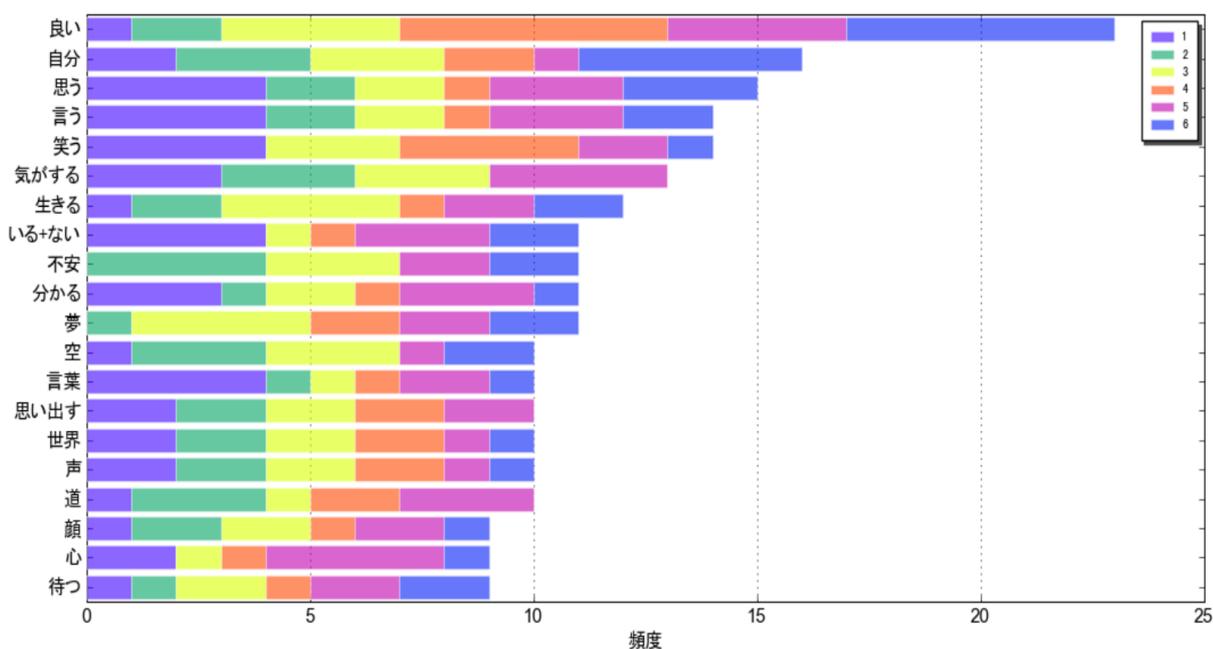
3.1. 基本情報

分析対象の総曲数は、43 曲であった。一曲当たりの歌詞の文字数は平均 504.7 文字であった。内容語の延べ単語数は 5220 で、単語種別数は 1818 だった。

3.2. 単語頻度解析

アルバム別の単語頻度解析の結果は、名詞・形容詞・動詞は図 1、名詞は図 2、形容詞・形容動詞は図 3、動詞は図 4 に示す。

図 1 単語頻度解析:名詞・形容詞・動詞(アルバム別曲数)

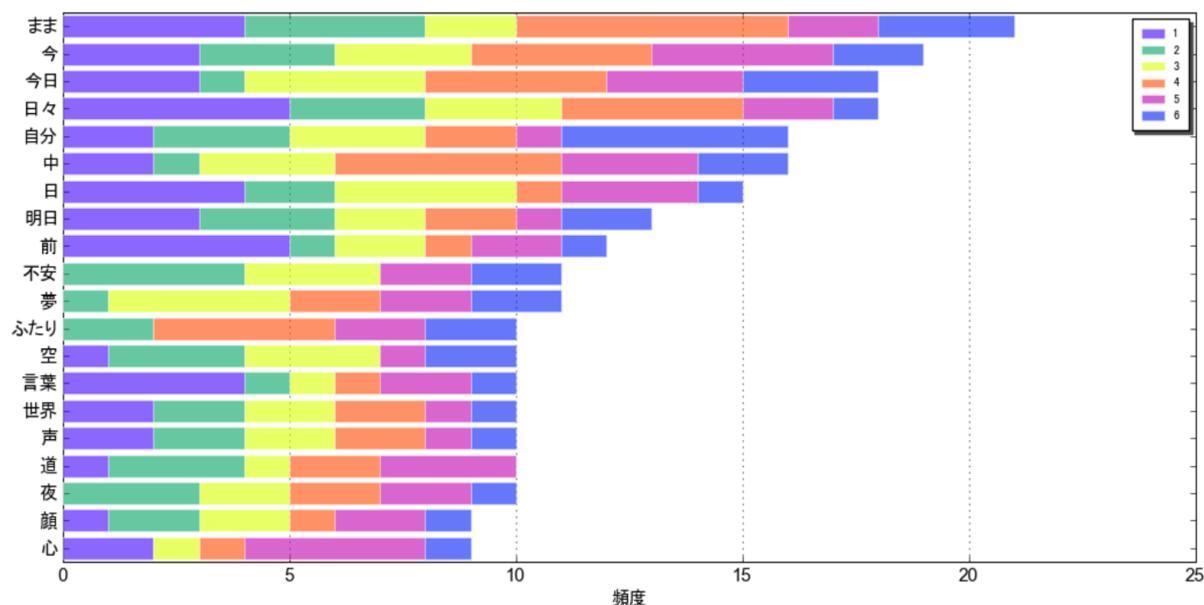


アルバム別の歌詞において、出現曲数の多い上位 20 位の単語は図 1 の通りである。最も頻度が高かったのは「良い」であり、6つのアルバムで 20 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 1 曲、2 曲、4 曲、6 曲、4 曲、6 曲に使用されている。それに続き頻度が高かったのは「自分」であり、6つのアルバム全体で 16 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 2 曲、3 曲、3 曲、2 曲、1 曲、5 曲に使用されている。続いて「思う」であり、6つのアルバム全体で 15 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 4 曲、2 曲、2 曲、1 曲、3 曲、3 曲に使用されている。そして 4 番目に「言う」であり 6つのアルバム全

体で14曲に使用されており、アルバム1から順番に4曲、2曲、2曲、1曲、3曲、2曲に使用されている。

図1の通り、名詞・形容詞・動詞では、「良い」の出現回数が他に比べて圧倒的に多く、その中でもアルバム4と6で多く使用されている。

図2 単語頻度解析:名詞(アルバム別曲数)



アルバム別の歌詞において、出現回数の多い上位20位の名詞は図2の通りである。最も頻度が高かったのは「まま」であり、6つのアルバム全体で21曲に使用されており、アルバム1から順番に4曲、4曲、2曲、6曲、2曲、3曲に使用されている。それに続き頻度が高かったのは「今」であり、6つのアルバム全体で19曲に使用されており、アルバム1から順番に3曲、3曲、3曲、4曲、4曲、2曲に使用されている。次に頻度が高かったのは「今日」であり、6つのアルバム全体で18曲に使用されており、アルバム1から順番に3曲、1曲、4曲、4曲、3曲、3曲に使用されている。次の「日々」は「今日」と同じく6つのアルバム全体で18曲に使用されており、アルバム1から順番に5曲、3曲、3曲、4曲、2曲、1曲に使用されている。そして5番目に「自分」であり、6つのアルバム全体で16曲に使用されており、アルバム1から順番に2曲、3曲、3曲、2曲、1曲、5曲に使用されている。

図2の通り3番目に出現頻度が高いのは「今日」であり、18曲中10曲がジャンル別で人生に分類される曲であった。

図3 単語頻度解析:形容詞・形容動詞(アルバム別曲数)

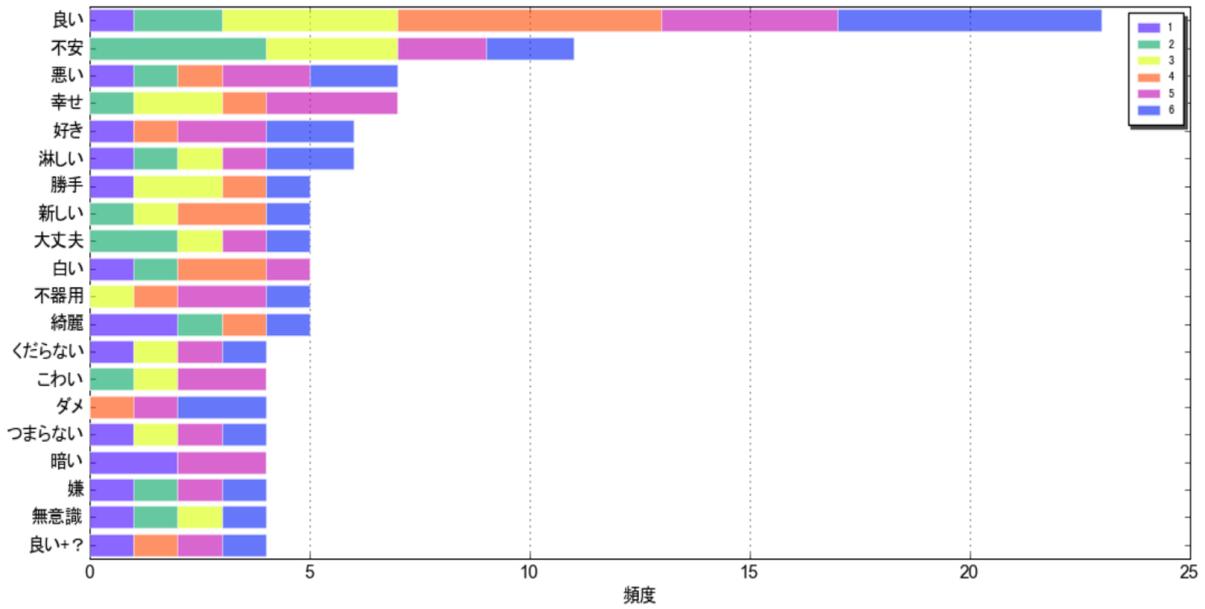


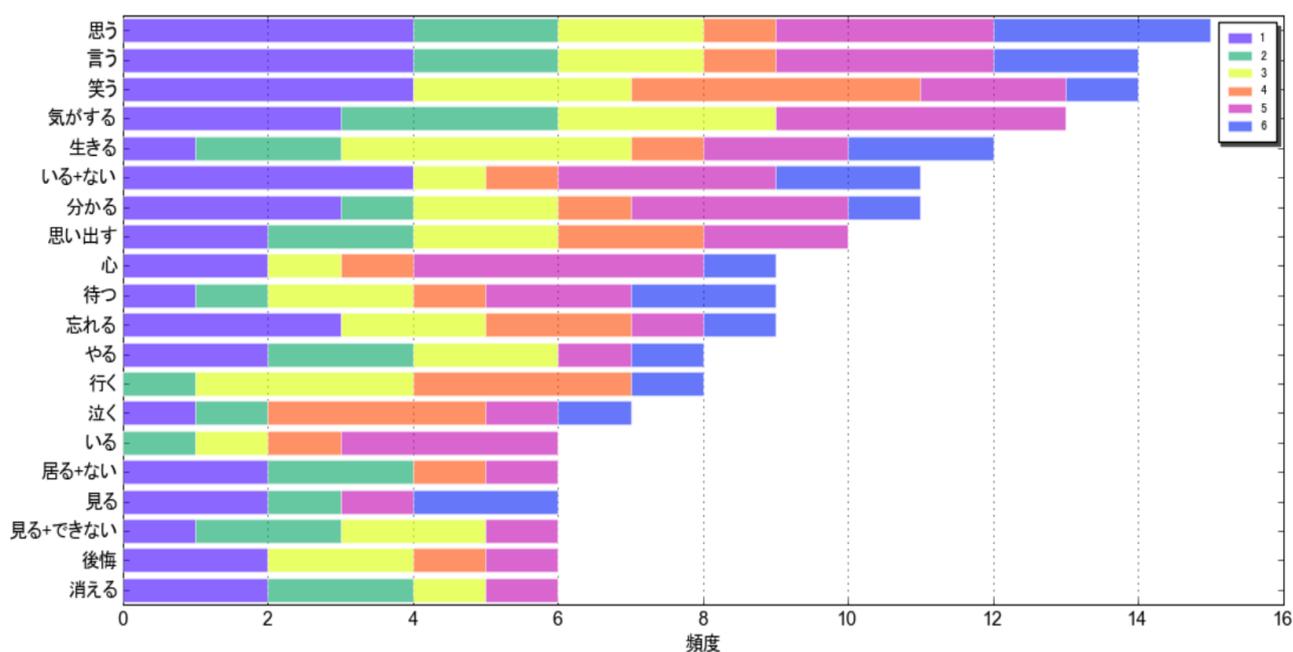
図 3.1 単語頻度解析(印象3分類)

単語	品詞	品詞詳細	暗い	中間	明るい
良い	形容詞	一般	7	10	6
自分	名詞	一般	3	7	6
思う	動詞	一般	7	7	1
言う	動詞	一般	5	6	3
笑う	動詞	一般	4	7	3
気がする	動詞	一般	7	4	2
生きる	動詞	一般	3	6	3
いる+ない	動詞	非自立可能	2	5	4
不安	名詞	形容動詞可能	4	4	3
分かる	動詞	一般	4	5	2
夢	名詞	一般	1	7	3
空	名詞	一般	4	4	2
言葉	名詞	一般	3	4	3
思い出す	動詞	一般	6	0	4
世界	名詞	一般	5	3	2
声	名詞	一般	3	5	2
道	名詞	一般	5	3	2
顔	名詞	一般	4	2	3
心	名詞	々変可能	3	3	3
待つ	動詞	一般	3	4	2

アルバム別の歌詞において、出現曲数の多い上位 20 位の形容詞・形容動詞は図 3 の通りである。最も頻度が高かったのは「良い」であり、6つのアルバム全体で 23 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 1 曲、2 曲、4 曲、6 曲、4 曲、6 曲に使用されている。それに続き頻度が高かったのは「不安」であり、6つのアルバム全体で 11 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 0 曲、4 曲、3 曲、0 曲、2 曲、2 曲に使用されている。続いて「悪い」であり、6つのアルバム全体で 7 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 1 曲、1 曲、0 曲、1 曲、2 曲、2 曲に使用されている。そして 4 番目に「幸せ」であり、「悪い」と同じく 6つのアルバム全体で 7 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 0 曲、1 曲、2 曲、1 曲、3 曲、0 曲に使用されている。

図 3 の通り 2 番目に出現頻度が高いのは「不安」である。「不安」という単語が出てくる曲の印象 3 分類の項目(図 3.1)を見てみると、「暗い」が 11 曲中 4 曲、「中間」も 11 曲中 4 曲、「明るい」が 11 曲中 3 曲であった。

図 4 単語頻度解析:動詞(アルバム全体曲数)



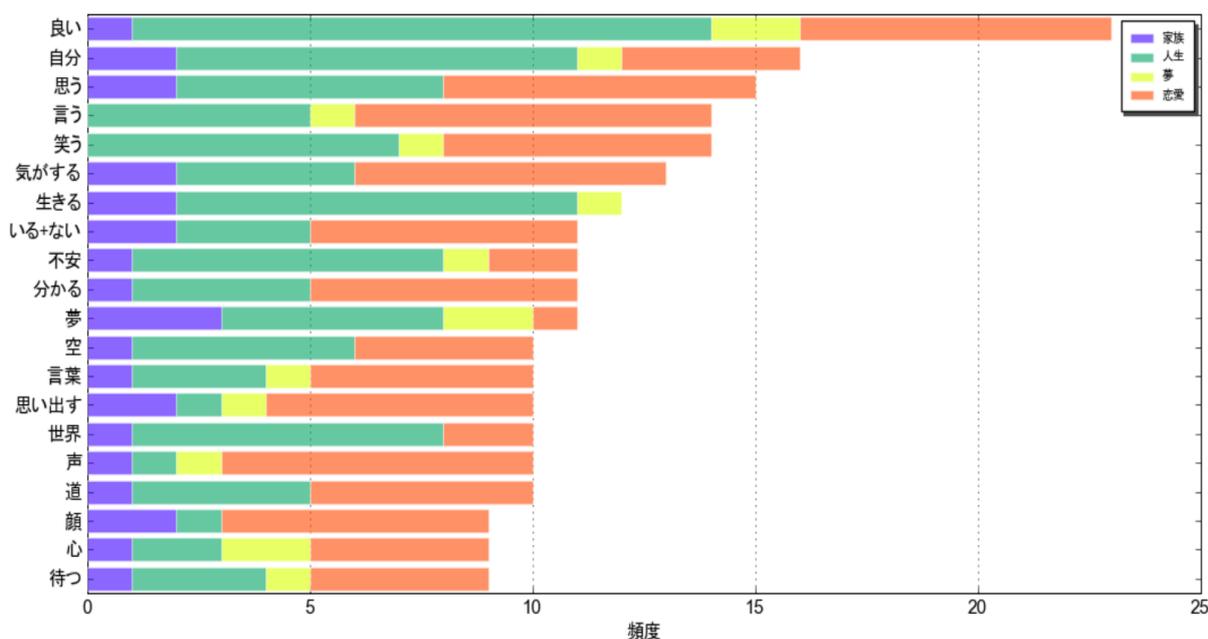
アルバム別の歌詞において、出現曲数の多い上位 20 位の動詞は図 4 の通りである。最も頻度が高かったのは「思う」であり、6つのアルバム全体で 15 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 4 曲、2 曲、2 曲、1 曲、3 曲、3 曲に使用されている。それに続き頻度が高かったのは「言う」であり、6つのアルバム全体で 14 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 4 曲、2 曲、2 曲、1 曲、3 曲、2 曲に使用されている。続いて「笑う」であり、6つのアルバム全体で 14 曲に使用されており、アルバム 1 から順番に 4 曲、0 曲、

3曲、4曲、2曲、1曲に使用されている。4番目に「気がする」であり、6つのアルバム全体で13曲に使用されており、アルバム1から順番に3曲、3曲、3曲、0曲、4曲、0曲に使用されている。

図4の通り、2番目に頻度が高かったのは「言う」である。1曲のなかでどれくらい繰り返し使用されているのかを見てみると、14曲中13曲が3回以内の使用回数であったが、1曲だけ5回使用しており、曲のタイトルにも「言う」が使用されている。

続いて、曲のジャンル別(恋愛、人生、家族、夢)の出現する単語頻度の比較を行うために単語頻度解析を行った。その結果を図5に示す。

図5 単語頻度解析:ジャンル別(曲数)



ジャンル別の歌詞において出現頻度の高い上位20位の単語は図5の通りであり、1番出現頻度の高い「良い」は人生についての曲で最も使用され、人生に分類された17曲中13曲で使用されている。続いて出現頻度が高いのは恋愛についての曲であり、恋愛に分類された20曲中7曲で使用されている。2番目に出現頻度の高い「自分」も人生についての曲で最も使用され、人生に分類された17曲中9曲で使用されている。上位20位の単語の中で恋愛についての曲での出現頻度が最も多いのは、「思う」「言う」「気がする」「いる

+ない」「分かる」「言葉」「思い出す」「声」「道」「顔」「心」「待つ」であり、「いる+ない」の前には「君が」「君は」「あなたが」などの言葉が多く使用されている。

続いて印象3分類(暗い、中間、明るい)と感情3分類(不快、動揺、快感情)に出現する単語頻度の比較を行うためにそれぞれ単語頻度解析を行った。印象3分類の単語頻度解析を行った結果を図6に、感情3分類の単語頻度解析を行った結果を図7に示す。

図6 単語頻度解析:印象3分類(曲数)

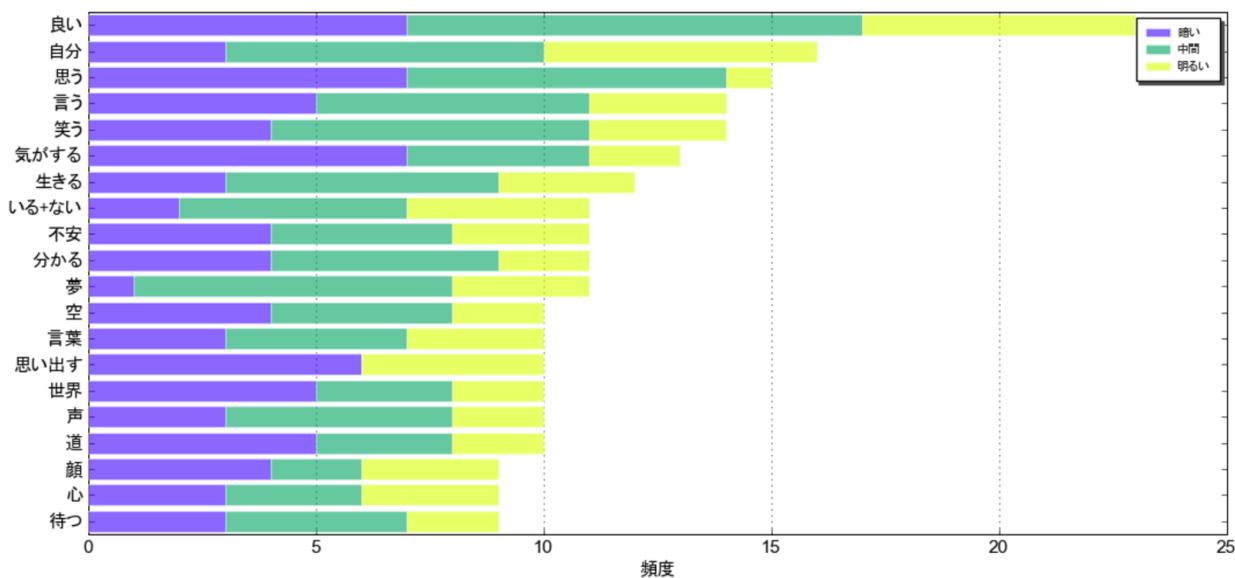
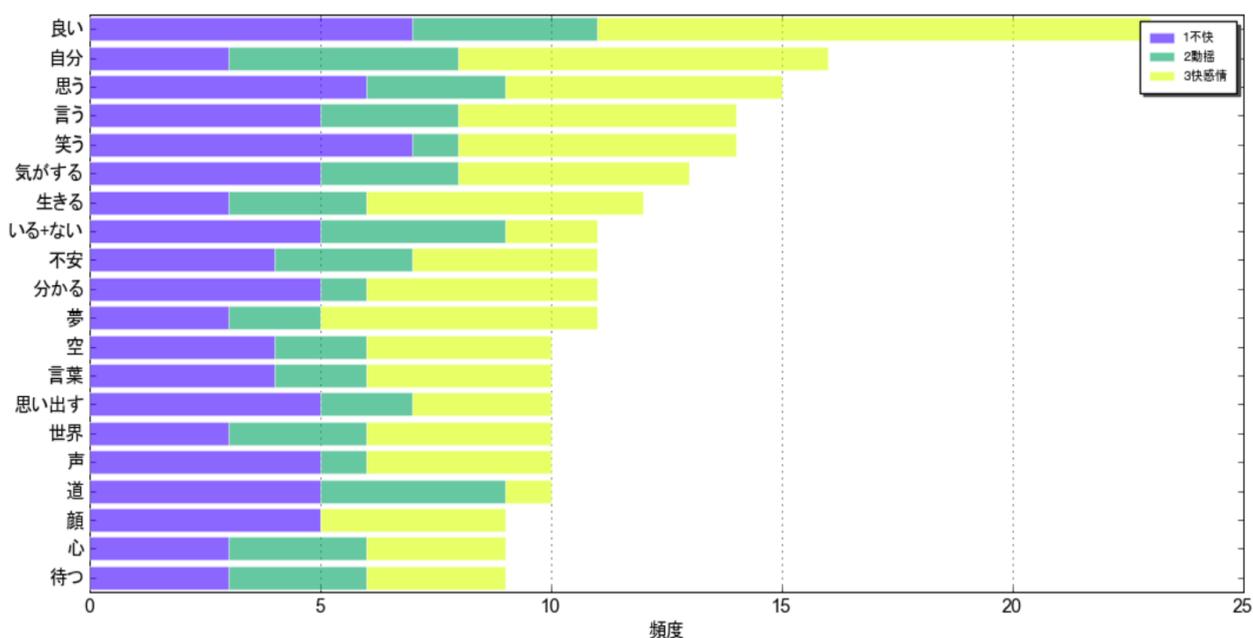


図7 単語頻度解析:感情3分類(曲数)



印象3分類の歌詞において、出現曲数の多い上位20位の単語は図6の通りであり、感情3分類の歌詞において、出現曲数の多い上位20位の単語は図7の通りである。1番頻度が高い「良い」は、アルバム全体で23曲に使用されており、印象3分類では、印象が暗い、中間、明るい、の順番に7曲、10曲、6曲で使用、感情3分類では、感情が不快、動揺、快感情、の順番に7曲、4曲、12曲で使用されている。続いて頻度が高い「自分」はアルバム全体で16曲に使用されており、印象3分類では、暗いから順番に3曲、7曲、6曲で使用、感情3分類では、不快から順番に3曲、5曲、8曲で使用されている。次に頻度が高い「思う」は、アルバム全体で15曲に使用されており、印象3分類では、暗いから順番に7曲、7曲、1曲で使用、感情3分類では、不快から順番に6曲、3曲、6曲で使用されている。4番目に頻度が高い「言う」はアルバム全体で14曲に使用されており、印象3分類では、暗いから順番に5曲、6曲、3曲で使用、感情3分類では、不快から順番に5曲、3曲、6曲で使用されている。

3.3. 対応バブル分析

印象3分類の頻出単語と感情3分類の頻出単語との関係を示すためそれぞれで対応バブル分析を行った。印象3分類の対応バブル分析を行った結果を図8に、感情3分類の対応バブル分析を行った結果を図9に示す。

図8 対応バブル分析:印象3分類(曲数)

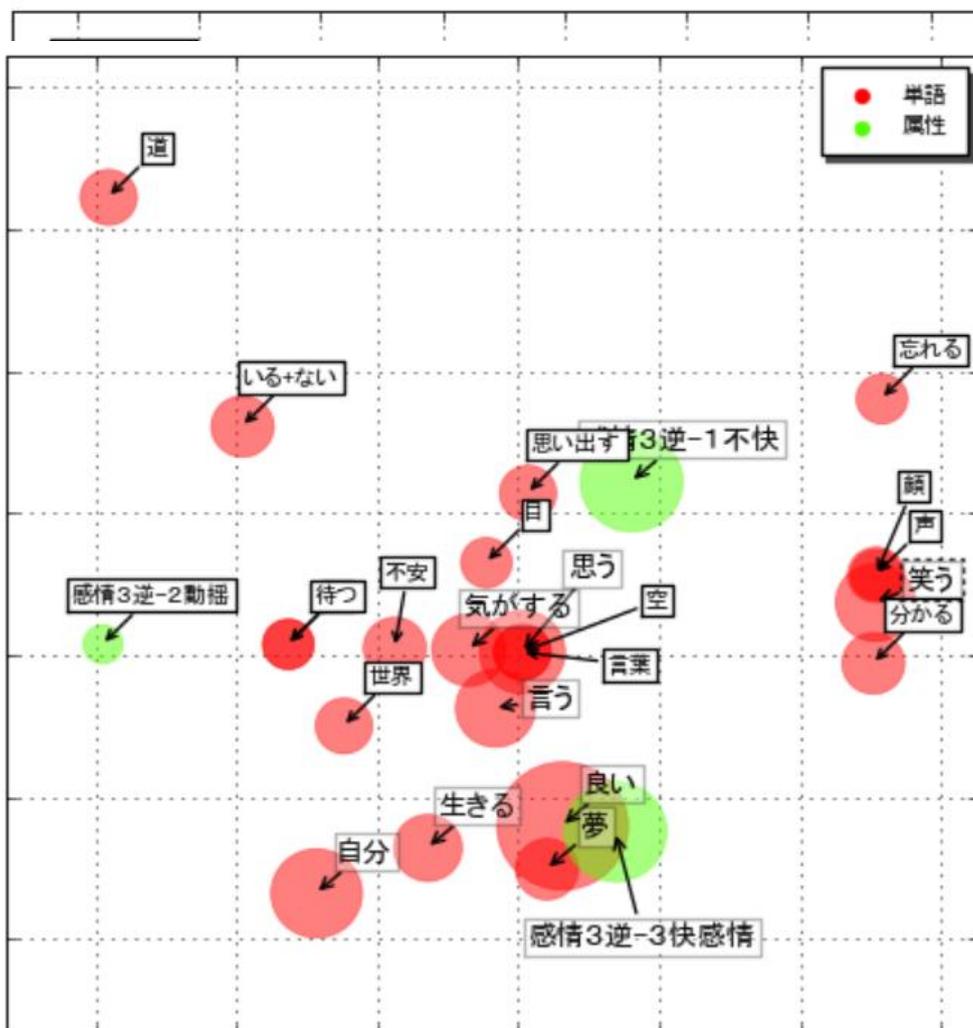


図9 対応バブル分析:感情3分類(曲数)

印象別の頻出単語曲数との関係を示す対応バブル分析を行った結果、図8のような結果となった。印象が暗い曲では「道」「世界」「気がする」が頻繁に使用されており、印象が中間の曲では「声」「笑う」「分かる」「生きる」が頻繁に使用され、印象が明るい曲では、他の印象と比べ特筆した単語は見られなかった。

感情別の頻出単語曲数との関係を示す対応バブル分析を行った結果、図9のような結果となった。感情3分類のうち、不快に分類される曲では「思い出す」「忘れる」「目」「顔」「声」が頻繁に使用されており、動揺に分類される曲では「待つ」「いる+ない」「道」「不安」が頻繁に使用され、快感情に分類される曲では「良い」「夢」「生きる」「自分」が頻繁に使用されていることが明らかとなった。

4. 考察

4.1. ジャンルについて

今回分析した全 43 曲中ジャンル分けで最も多く分類されたのは、恋愛についての曲であり 43 曲中 20 曲であった。43 曲全体の単語頻度解析で出現頻度が高かった単語上位 20 位の中で、他のジャンルに比べて恋愛についての曲で使用された頻度の高い「思う」「言う」「いる+ない」「分かる」「言葉」「思い出す」「声」「道」「心」「待つ」のうち、「思う」「いる+ない」「思い出す」「待つ」では、その言葉の前後に「君」「あなた」という単語が出現する頻度が非常に高いことが分かった。「君」「あなた」という単語が付いていなくても、前後の歌詞から「君」や「あなた」という恋愛関係(片思いを含む)にある相手について表現している事が読み取れる。反対に「僕」「俺」「私」などの自分についての単語が前後についているものはなかった。

以上のことから、Saucy Dog や作詞者石原慎也は、恋愛がテーマの曲において、恋愛をしている自分についてではなく、相手の事をどれだけ思っている(思っていた)か、を歌っている事がわかる。

恋愛の曲の次に多かったのは、人生についての曲で、全 43 曲中 17 曲であった。43 曲全体の単語頻度解析で出現頻度が高かった単語上位 20 位の中で、他のジャンルに比べて人生についての曲で使用された回数の多い「良い」「自分」「笑う」「生きる」「不安」「夢」「世界」のうち「良い」「笑う」は単語だけ見るとポジティブな意味を持つように感じるが、歌詞を見てみると、アルバム 1 では「見なかったことにすれば良かった」「居ても居なくても良い」「期待はずれもいいとこ」と、ネガティブな意味合いで使用されている。その後に発売されたアルバム 2 から 6 では「自分なりの一歩で良いんだよ」「壊れそうな時は泣いたって良いし辞めちゃったって良い」「自分のために生きていいんだよ」などポジティブな意味合いで使用されている。このことから、アルバム 1 の曲を作成している時とそれ以降の間に、Saucy Dog や作詞者にとって大きく心境を変える出来事があったのではないかと推測できる。

4.2. 印象 3 分類と感情 3 分類について

43 曲全体の単語頻度解析で出現頻度が高かった上位 20 位を印象 3 分類(暗い、中間、明るい)と感情 3 分類(不快、動揺、快感情)のそれぞれで、何曲に使用されているか分析した場合、「暗い」と「不快」、「中間」と「動揺」、「明るい」と「快感情」で近い回数が結果として出るのはないかと推測したが、そのような結果は得られなかった。この結果が得られた要因は 43 曲を 3 つの印象に分ける際に、歌詞、速度、音などその曲を構成する全ての要素を鑑みて、3 つのどの印象に当てはまると感じるか、という点で分類を行ったからだと推測される。歌詞だけを対象として分類した場合は、筆者が想定した結果に近いものが得られたのではないかと考える。

5. おわりに

本研究の結果から Saucy Dog が 10 代から 20 代に人気である理由は、歌詞に次のような特徴があるからではないだろうか。歌詞に、恋愛関係(片思いを含む)にある相手への思いが溢れているところや、自分の人生に対してネガティブな思いを抱いていてもそれで良いと肯定するところ、「壊れそうな時は泣いたって良いし辞めちゃったって良い」と弱い自分やその人生を受け入れているところがあり、聴く人の思いに寄り添い、若者世代が、共感できるような等身大の歌詞にあるのではないだろうか。

謝辞

学生研究奨励賞の原稿作成にあたり、「Text Mining Studio Ver. 7.1.1」を使用させていただきました NTT データ数理システム様に感謝いたします。また、本論文を作成するにあたり、指導教官の小松賢亮准教授、伊藤武彦名誉教授から丁寧かつ熱心なご指導を賜りましたことに感謝いたします。

文献

なし